



2025年6月18日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ダ イ セ キ
代表者の役職・氏名 代表取締役社長 山本 哲也
(コード番号 9793 東証プライム・名証プレミア)
問 い 合 わ せ 先 常務執行役員企画管理本部長 片瀬 秀樹
(電話番号 052-728-1155)

新城市と包括連携協定の締結についてのお知らせ

当社は、下記のとおり、2025年6月11日に新城市との包括連携協定を締結いたしましたので、お知らせします。

【目的】

環境への負荷の少ない循環型社会の形成や地域の活性化を図ることなどを目指すため。今後、この協定に基づき、新たにリサイクル可能な製品の調査・検討などを行っていきます。

【協定の内容】

- (1) 循環型社会・サーキュラーエコノミーの推進に関すること
- (2) 地域の活性化に関すること
- (3) 災害時における廃棄物処理に関すること
- (4) その他、本協定の目的を実現するために必要な事項

【循環型社会の推進の実証実験】

当社は、名古屋大学発のベンチャー企業 SyncMOF 株式会社（2019年6月設立、代表取締役 畠岡潤一氏）と共同で、サーキュラーエコノミーに貢献するアンモニア回収リサイクルの開発に取り組んでまいりました。この度、その成果として、金属有機構造体（MOF）を用いた新たな吸着剤「Amunite」を活用し、新城市の堆肥化施設から発生するアンモニアの回収実証試験を開始します。

国内で年間約37万トンものアンモニアが大気中に排出されており、そのうち約60%が畜産業に起因するとされています。アンモニアは肥料や樹脂の重要な原料であり、近年では脱炭素燃料としても注目され、今後の需要拡大が見込まれています。しかし現状では、製造業や畜産業から排出されるアンモニアガスは不純物が多く、資源として再利用が困難でした。こうした課題に対し、当社と SyncMOF 株式会社は、多様なガスの中からアンモニアのみを選択的に吸着・回収し、アンモニア原料として再利用することを目的とした材料開発を推進してきました。

今回の新城市での実証実験は、畜産由来のアンモニアを、Amunite を用いて分離・回収することで、有用な資源として循環させることを目指すものです。



以 上